

令和6年（2024年）7月12日

令和7年度に大学院理工学研究科へ数理情報システム専攻を設置 ～情報とデジタルの知を結集し、地域のデジタルイノベーションをリード～

【本件のポイント】

- 令和7年4月に、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題の解決をリードする高度情報専門人材を養成する、「数理情報システム専攻」を大学院理工学研究科へ設置する。
- 令和6年度大学・高専機能強化支援事業に採択。高度情報専門人材の育成を強化するため、入学定員20名を増員する。
- 本専攻では、「5G・IoT・AIコンソーシアム」と連携したインターンシップの実施に加え、地域企業、高等教育機関、初等中等教育機関との連携事業を行い、その成果を地域に還元する。



【概要】

高度な生成 AI、量子、フュージョンエネルギーをはじめとする先端技術は、従来の延長線上にない急速な発展の兆しを見せており、気候変動・感染症・自然災害をはじめとする課題解決の切り札となることが期待されている。そして、数理科学とそれに基づいた情報科学は、多彩な先端技術を融合して未来の社会を構築するための共通言語として位置づけられ、大学及び大学院は、数理情報科学とそれに関連する知の基盤を構築し、価値の創造とイノベーションを担う人材を育成するための中心的な拠点となることが期待されている。

こういった背景のもと山形大学では、情報科学や数理・データサイエンスの深い専門知識を習得し、リアル空間とサイバー空間の融合領域技術を活用した社会課題解決をリードする高度情報専門人材を育成するために、大学院理工学研究科へ「数理情報システム専攻」を令和7年4月に設置する。

【大学・高専機能強化支援事業への採択】

- ・令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）に、本学の「山形大学における地域のデジタルイノベーションを加速する循環教育モデルの確立」が採択された。
（申請区分：一般枠）
- ・大学・高専成長分野転換支援基金助成金から 760,000,000 円の交付が内定した。
※助成期間である令和6年度～15年度の合計額

【構想】

- ・地域の中核大学として、高度専門人材の養成に加え、最先端の AI・情報研究成果を活用し、山形県の基幹産業分野を中心にデジタル技術を活用した生産性の向上や高付加価値化に取り組み、デジタル技術の活用による魅力的な地域づくりを目指す。
- ・山形市、米沢市の2拠点においてオンラインを活用した教育を行い、「5G・IoT・AI コンソーシアム」と連携したインターンシップの実施、実務家教員を中心とした実践的教育を行うとともに、地域企業、高等教育機関、初等中等教育機関との連携事業を行い、その成果を地域に還元する。
- ・大学院理工学研究科の理学専攻（データサイエンス領域）6名及び情報・エレクトロニクス専攻62名を統合することに加え、支援事業採択に合わせて20名増員することにより入学定員は88名となる。

お問い合わせ

企画・戦略室長 内藤

TEL 023-628-4190

メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp